

## グーグル検索を使いこなす



中小企業診断士  
米倉 博彦

- わからないことがあったら、とりあえずネットで検索するという行為が普通になった。みんな、常にスマートフォンを持っているので、いつでもどこでも検索ができる。
- 検索すれば誰でも同じ結果が得られる…というわけではない。(1)適切なキーワード選び、(2)様々なテクニックを使いこなす、この二点が、よりよい検索結果を得られるかどうかの分かれ目だ。
- キーワード選びは経験が必要だけれど、テクニックについては知ってしまえばすぐに使いこなせる。
- 今回は検索をより効果的に使うためのテクニックを紹介する。

### 1. 更新日時で絞り込む

通常の検索では、古い情報が先頭に出てくることがある。例えば、今年の制度が知りたいのに、昨年や数年前の制度について書かれたホームページが出てくる…といった具合だ。

そんな時は、検索結果の一覧画面から「ツール」ボタンをクリックし、下に出てくるメニューから「時間」をクリックすれば、「24時間以内」「1週間以内」といった選択肢が出てくる。これで、24時間以内に更新されたページだけを検索結果に表示することができる。(図1)

「期間を指定」を選択すれば、より細かく期間を絞り込むことができる。(図2)

<図1：最近更新されたもののみを検索>



<図2：期間を指定して検索>



### 2. 画像検索

文字だけでなく画像でも検索ができる。検索ボックスの右にあるカメラのアイコンをクリックして、パソコンの中の画像をアップロードすれば、インターネッ

トから似ている画像を検索してくれる。(図3、図4)

<図3：画像検索 入力画面>



<図4：画像検索結果>



### 3. 画像をプレゼン資料に使いたい場合

検索した画像をプレゼン資料などで使いたい場合、著作権のことが心配になる。その場合、「ツール」から「ライセンスでフィルタリングしない」をクリックする。出てきた一覧のなかから「再使用が許可された画像」を選択すれば、著作権の問題が発生しない画像のみが検索結果に表示されるので、その中から選択すれば大丈夫だ。(図5)

なお、画像を改変したい場合や、非営利目的での再使用に関しては、別の選択肢を選ぶことになる。

<図5：再使用が許可された画像のみを検索>





#### 4. みんなと同じ検索結果を見る

検索結果は、人によって異なる。同じキーワードで検索しても、自分と他者では違う結果が表示されている。これは、過去の検索履歴やいま現在の場所などから、個別に検索結果の調整が入るためだ。

これを「パーソナライズ検索」と言う。

以前、知人が「福岡 中小企業診断士」で一位になりました！とSNSに投稿していたが、他の人が見たら10位以下だった。その知人は、自分のホームページをよく見ているから、パーソナライズ検索の結果上位に表示されていたけれど、他の人はそうではなかったということだ。

この機能をオフにしたい場合は、「設定」から「プライベート検索結果を表示しない」をクリックすればよい。これで個人差のない検索結果が表示される。

<図6：パーソナライズ検索を無効にする>



#### 5. 検索オプション

複雑な条件を指定して検索を行うこともできる。たとえば、ドコモ以外のスマートフォンを検索する、といったやり方だ。

「設定」から「検索オプション」を指定すると入力画面が現れる。検索をしても関連のない結果が多数表示される場合は、検索オプションで絞り込むとよい。(図7)

ドコモ以外のスマートフォンを検索したい場合は、「すべてのキーワードを含む」の欄にキーワード「スマートフォン」を、「含めないキーワード」の欄にキーワード「ドコモ」を入力すればよい。

<図7：検索オプション>



#### 6. ファイル形式を指定

特定のファイル形式 (PDF、画像ファイルなど) だけを検索したい場合は、検索キーワードの後ろか前のどちらかに「filetype:<ファイル形式>」と追加する。

たとえば、中小企業診断士に関するPDFファイルを検索したい場合、「filetype:pdf 中小企業診断士」もしくは「中小企業診断士 filetype:pdf」で検索する。(図8)

<図8：ファイルを指定して検索>



#### 7. 政府のHPのみを指定して検索

検索キーワードに「site: <ホームページのアドレス>」と入力することで、指定したホームページの中だけを検索した結果を表示できる。

例：「site:go.jp 働き方改革」もしくは「働き方改革 site:go.jp」と検索することで、政府関連のホームページだけから「働き方改革」に関する記事を表示することができる。(図9)

たとえば、「site:flowthink.jp <キーワード>」とすれば、当社((株)フロウシンク)のホームページの中だけが検索対象になる。

<図9：政府のHPのみからの検索結果を表示>



\* \* \* \* \*

私が社会人になったのは1997年で、当時、グーグル検索はこの世にまだ存在していなかった。

インターネットでの検索はもっぱらヤフーの「ディレクトリ検索」で行っていた。これは、ヤフーの社員が人力でインターネットを見て回り、役に立つホームページを登録した一覧表だった。(現在は、ヤフーの検索も裏でグーグルと同じシステムが動いていて、同じ結果を返すようになっている)

ある日、「グーグルという海外の検索エンジンが凄いらしい」と先輩に聞き、実際に使ってみると、知りたい情報が素早くかつ簡単に検索できることに驚いた記憶がある。

それから20年が経ち、スマートフォンによっていつでも誰でもどこでも簡単に検索し、情報にアクセスできる時代になった。店舗の営業時間を調べるのすら電話で問い合わせていた20年前に比べると隔世の感がある。

今回紹介したテクニックを使うことで、グーグル検索をより有効に使いこなすことができるようになる。欲しい情報に素早くたどり着ければ、人生が豊かになる。

好奇心さえあれば、無限の情報にほぼ無料でアクセスできるなんて、いい時代になったものだと思う。

今日からできる仕事術